

定住自立圏構想
中心市宣言書

平成 21 年 12 月 15 日

室蘭市

【中心市宣言】

室蘭市は、北海道の南西部に位置し、天然の良港とそれを取り巻く工場群、さらには地球岬などの景勝地を合わせ持ち、平成10年には室蘭港を跨ぐ白鳥大橋が完成するなど、産業と自然が調和した都市であります。

明治期から100年以上にわたり鉄鋼業を中心とした「ものづくりのまち」として、高い技術力と優秀な人材、さらに、知の拠点としての室蘭工業大学があり、これらが産学官連携で結びつき、近年は環境産業の取り組みや研究にも進展し、道内でも有数の工業都市として発展を続けています。

西胆振圏域は、室蘭市と隣接する登別市、伊達市、さらに周辺の豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町により構成され、豊かな自然環境を活かした農水産業に加え、登別温泉や洞爺湖温泉など全国でも有数の温泉地があり、1次から3次までの幅広い産業を有する地域であるとともに、縄文遺跡群やアイヌ文化など貴重な歴史・文化資源があります。

昨年は、洞爺湖町を中心に、北海道洞爺湖サミットが開催され、今年は洞爺湖有珠山が世界ジオパークとして国内初の認定を受けるなど、世界的な知名度を有する地域でもあります。

この地域は、住民生活においても密接に関連しており、本市の医療、教育、商業などの都市機能は、日常的に周辺市町からも利用されており、一方では本市住民も、周辺地域の魅力ある自然や観光地、食材などの恩恵を受け、一体的な生活圏を形成しており、行政事務においても廃棄物処理や電算業務の共同化などの連携が図られております。

また、周期的噴火を繰り返す有珠山を抱える地域として、噴火時における避難場所の確保や生活物資の供給をはじめ、浮体式防災フロートの設置など、各市町が協力しながら、安心安全のまちづくりを進めています。

しかし、少子高齢化の進展などによる人口減少や、厳しい財政状況の中で、将来に亘って住民生活を守り、今後においても持続可能なまちづくりを進めていくためには、中心市の都市機能と、周辺市町の地域資源を有効に活用し、地域の魅力を高め、一層の連携と役割分担を図ることで圏域の自立と発展へとつなげることが必要です。

室蘭市は、圏域の歴史や文化、つながりなどを踏まえ、医療や環境、防災など、圏域の暮らしに必要な機能の確保に努めるとともに、周辺市町の豊かな資源や地域性を活用し、互いの連携と共存により、地域全体として発展し、未来に引き継ぐ「ふるさと西いぶり」の形成を目指します。

ここに、中心市としての役割と責務を十分に認識し、西いぶり定住自立圏の中心市となることを宣言します。

平成21年12月15日

室蘭市長 新宮正志

I. 室蘭市における都市機能の集積状況

西胆振圏6市町の人口は、平成20年度で約20.5万人おり、そのうち室蘭市の人口は9.6万人とその約半分を占め、医療・商業・娯楽・行政など、圏域の拠点としての主な都市機能の集積状況は以下のとおりである。

| | 分類 | 施設名 | 備考 |
|---------|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 医療・福祉 | 2次救急医療施設 | 市立室蘭総合病院 日鋼記念病院 新日鐵室蘭総合病院 大川原脳神経外科病院 | |
| | 災害拠点病院 | 市立室蘭総合病院、日鋼記念病院 | |
| | 小児2次救急医療 | 市立室蘭総合病院、日鋼記念病院 | 輪番制 |
| | 周産期母子医療 | 日鋼記念病院 | |
| | 高齢者福祉施設 | 特別養護老人ホーム、訪問介護ステーション、介護病床型医療施設、ケアハウスなど46ヶ所 | |
| | 障害者福祉施設 (身体、知的、精神) | 地域活動支援センター、児童デイサービス事業、地域活動支援センター など12ヶ所 | |
| | 児童福祉施設 | 児童館、養護施設、助産施設 など9ヶ所 | |
| | 保育所 | 市立5ヶ所、私立5ヶ所 | 広域入所可能 |
| 教育 | 大学 | 室蘭工業大学(国立大学法人) | |
| | 各種専修学校等 | 市立室蘭看護専門学院、日鋼記念看護学校、北斗文化学園インターナショナル調理技術専門学校、北海道福祉教育専門学校、室蘭ドレスメーカー専門学院、室蘭高等技術専門学院 | |
| | 高等学校 | 道立4校、私立2校 | |
| | 幼稚園 | 私立11園 | |
| 研究・開発 | 研究・開発施設 | (室蘭工業大学)ものづくり基盤センター、地域共同研究開発センター (北海道大学)北方生活圏フィールド科学センター水圏ステーション室蘭臨海実験所 (道・市関連)室蘭テクノセンター、北海道立栽培水産試験場 | |
| 文化・スポーツ | 文化・社会教育施設 | 文化センター、市民会館、青少年科学館、図書館、港の文学館、市民美術館、民俗資料館 | |
| | スポーツ・レク施設 | 市立体育館、入江運動公園陸上競技場、中島スポーツセンター、B&G海洋センター、エンルムマリーナ室蘭、室蘭岳山麓総合公園 (その他)球場、テニスコート、パークゴルフ場、ゴルフ場、スキー場、海水浴場、キャンプ場 など | |

| 分類 | | 施設名 | 備考 |
|-----------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 産業・ 経済 | 観光施設 | 室蘭水族館、白鳥大橋記念館 | |
| | 商業施設 | 長崎屋中島店・中央店、ポスフル室蘭店など 29ヶ所 | 大店立地法による届出 |
| | 流通施設 | 室蘭市公設地方卸売市場、室蘭花地方卸売市場 | |
| | 金融機関 | 日本政策金融公庫室蘭支店、室蘭信用金庫11店、北洋銀行2店、北海道銀行2店、北海道労働金庫2店、伊達信用金庫2店、郵便事業2店、郵便局22ヶ所 | |
| 交通 | 鉄道 | JR室蘭本線 | 市内駅数：7 |
| | 長距離バス | 室蘭⇄札幌 室蘭⇄新千歳空港（道南バス、中央バス） | |
| | 高速道路 | 道央道（室蘭IC） | |
| | 国道 | 国道36号、国道37号 | |
| | 路線バス | 道南バス | |
| | 港湾 | 室蘭港（特定重要港湾、リサイクルポート指定） 室蘭港浮体式防災施設（広域防災フロート） | |
| 公的機関 | 国の機関 | 札幌地方検察庁室蘭支部、札幌法務局室蘭支局、函館税関室蘭支署、室蘭税務署、室蘭公共職業安定所、室蘭社会保険事務所、室蘭労働基準監督署、北海道運輸局室蘭運輸支局、北海道開発局室蘭開発建設部、室蘭海上保安部、室蘭地方气象台、札幌地方裁判所室蘭支部 | |
| | 道の機関 | 北海道胆振支庁、胆振教育局、室蘭保健所、室蘭児童相談所、室蘭警察署 | |
| | 広域施設 | ごみ処理施設、最終処分場、げんき館ペトトル、リサイクルプラザ、共同電算センター（以上、西いぶり広域連合） | |
| | その他施設 | 室蘭赤十字血液センター、日本環境安全事業北海道事業所 | |

II. 室蘭市の都市機能の利用状況

【市立室蘭総合病院の利用状況内訳】

外来患者

| 市町村名 | H19年度 | 構成比率 (%) | H20年度 | 構成比率 (%) |
|------|---------|----------|---------|----------|
| 室蘭市 | 241,445 | 77.5 | 221,329 | 77.3 |
| 周辺市町 | 63,281 | 20.3 | 59,804 | 20.9 |
| その他 | 6,875 | 2.2 | 5,291 | 1.8 |
| 合計 | 311,601 | 100 | 286,424 | 100 |

入院患者

| 市町村名 | H19年度 | 構成比率 (%) | H20年度 | 構成比率 (%) |
|------|---------|----------|---------|----------|
| 室蘭市 | 137,307 | 69.4 | 129,226 | 67.5 |
| 周辺市町 | 52,632 | 26.6 | 55,615 | 29.0 |
| その他 | 8,017 | 4.0 | 6,652 | 3.5 |
| 合計 | 197,956 | 100 | 191,493 | 100 |

救急搬送

| 市町村名 | H19年度 | 構成比率 (%) | H20年度 | 構成比率 (%) |
|------|-------|----------|-------|----------|
| 室蘭市 | 1,416 | 69.6 | 1,393 | 68.0 |
| 周辺市町 | 599 | 29.5 | 634 | 30.9 |
| その他 | 19 | 0.9 | 22 | 1.1 |
| 合計 | 2,034 | 100 | 2,049 | 100 |

以上、関係機関資料

【図書館の貸出冊数内訳】

| 市町村名 | H19年度 | 構成比率 (%) | H20年度 | 構成比率 (%) |
|----------|---------|----------|---------|----------|
| 室蘭市 | 249,363 | 96.4 | 269,952 | 96.7 |
| 周辺市町・その他 | 9,230 | 3.6 | 9,297 | 3.3 |
| 合計 | 258,593 | 100 | 279,249 | 100 |

図書館資料

【他市町から室蘭市への通勤・通学比率】

通勤比率（15歳以上、通勤者数は自宅従業者を除く）

| | 登別市 | 伊達市 | 豊浦町 | 壮瞥町 | 洞爺湖町 |
|----------------|--------|--------|-------|-------|-------|
| 各市町内の通勤者数(人) | 21,537 | 14,528 | 1,669 | 1,161 | 4,384 |
| 室蘭市への通勤者数(人) | 8,551 | 1,881 | 29 | 33 | 96 |
| 室蘭市への通勤者割合 (%) | 39.7 | 12.9 | 1.7 | 2.8 | 2.2 |

通学比率（15歳以上）

| | 登別市 | 伊達市 | 豊浦町 | 壮瞥町 | 洞爺湖町 |
|----------------|-------|-------|------|-----|------|
| 各市町内の通学者数(人) | 2,710 | 1,446 | 144 | 89 | 393 |
| 室蘭市への通学者数(人) | 952 | 251 | 19 | 3 | 38 |
| 室蘭市への通学者割合 (%) | 35.1 | 17.4 | 13.2 | 3.4 | 9.7 |

平成17年国勢調査

Ⅲ. 周辺市町と連携を想定する取組

1. 生活機能の強化に係る政策分野

① 医療

室蘭市と周辺市町の医療機関における連携や役割分担により、地域救急医療体制の維持・確保を図るとともに、診療情報等のネットワーク化を促進し地域医療体制の充実を図る。

② 防災

室蘭工業大学等と連携し、有珠山噴火をはじめ大規模災害時の避難体制の構築を図るとともに、室蘭市の医療機関との連携による災害医療の充実や、避難場所の確保、生活物資の供給など円滑な避難対応に取り組む。

③ 産業振興

室蘭市の試験研究機関等と連携しながら、周辺市町の1次産業等の振興に関わる技術開発に取り組むとともに、地域の農水産物を活用した食のブランド化等の農商工連携を促進する。

また、室蘭市のものづくり資源・交通機能と、登別温泉や洞爺湖温泉、洞爺湖有珠山ジオパークなど周辺市町の観光拠点との結びつきを強めるとともに、観光客の誘致や受入れ体制整備に向けた人材育成に連携して取り組み、地域における滞在型観光の推進を図る。

④ 環境

北海道洞爺湖サミットの開催地として、室蘭工業大学、室蘭テクノセンター、民間企業と連携しながら、地域の特性や資源を活用した、再生可能エネルギー・再生素材の研究開発、活用を図るとともに、住民生活における省エネルギーや環境意識の向上を促進し、地球温暖化対策など環境問題に関わる連携した取組みの推進を図る。

⑤ 教育

室蘭市のものづくり資源や周辺市町における歴史・文化遺産等の地域資源を活用し、小中学校において幅広い教育を推進するとともに、室蘭工業大学や各種専修学校と連携し地域に必要な人材育成を図る。

⑥ その他

その他、生活機能の強化に関する取り組みを行う。

2. 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

① 地域公共交通

室蘭市と周辺市町を結ぶ民間バスやJR等、地域公共交通の維持・確保を図る。

② デジタル・ディバイドの解消に向けたICTインフラ整備

医療機関における診療情報等のネットワーク化や、行政サービス・教育・観光分野等におけるICT活用を促進し、地域情報化の推進を図る。

③ 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消

周辺市町における農水産物を活用した食育や直売の推進、室蘭市内の店舗等における地元農水産物の利用促進など、地域の農水産物を活用した地産地消の推進を図る。

④ 地域内外の住民との交流・移住促進

室蘭市の医療や雇用、周辺市町における自然、観光など移住促進の情報発信に共同で取り組むとともに、季節移住の受入れや滞在プログラムの提供等に関わる連携を促進し、地域外住民の移住と交流の促進を図る。

⑤ その他

その他、結びつきやネットワークの強化に関する取り組みを行う。

3. 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

① 宣言中心市等における人材の育成と活用

室蘭工業大学との連携や合同職員研修の実施等により、行政機能の多様化、高度化に対応する行政人材の育成を図るとともに、NPO等の地域活動人材や民間人材の活用により、圏域マネジメント能力の強化を図る。

② 行政事務の共同実施

室蘭市と周辺市町による行政事務の共同処理により、行政サービスの維持と効率化を図り、圏域におけるマネジメント能力の強化を図る。

③ その他

その他、圏域マネジメント能力の強化に関する取り組みを行う。

IV. 中心市と連携する市町

通勤通学比率 0.1 以上の市町

登別市 : 0. 3 9 2

伊達市 : 0. 1 3 3 (旧大滝村含む)

連携する意思を有する市町

豊浦町 : 0. 0 2 6

壮瞥町 : 0. 0 2 9

洞爺湖町 : 0. 0 2 8 (旧虻田町・旧洞爺村合算)

*数値は H17 国勢調査より算出

*通勤通学比率は自宅従業者を除いた数値で算出